

ひたちなか市立那珂湊第一幼稚園の休園について

1 公立幼稚園の現状について

平成29年5月に策定した「ひたちなか市立幼稚園再編計画」に基づき、令和2年度末までに、10園あった幼稚園の再編・拠点化を進め、勝田地区においては佐野・東石川幼稚園、那珂湊地区においては那珂湊第一・那珂湊第三幼稚園の4園を拠点園としました。再編後は3歳児保育や教育時間外の預かり保育などを実施し保育サービスの充実を図ってまいりましたが、少子化や令和元年10月から開始された幼児教育の無償化の影響により、園児数が年々減少している状況です。

【参考①】公立幼稚園の園児数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
佐野幼稚園	57人	53人	43人
東石川幼稚園	44人	43人	40人
那珂湊第一幼稚園	34人	※17人	<u>14人</u>
那珂湊第三幼稚園	34人	43人	42人
合計	169人	156人	139人

※3歳児の入園希望なし

【参考②】令和5年度の那珂湊第一幼稚園における園児数（14人）の内訳について

	3歳児	4歳児	5歳児	合計
男児	1人	0人	7人	8人
女児	4人	0人	2人	6人
合計	5人	0人	9人	14人

2 那珂湊第一幼稚園における今後の方針について

那珂湊第一幼稚園については、少子化の影響により、次年度以降も園児数が少数となる可能性が高く、子どもたちの社会性を育むための園児数を確保することが困難であることが想定されることから、令和6年度は園児の募集を行わず、保育を実施しないこととし、令和6年3月31日をもって休園する予定です。

なお、休園に伴い、3歳児の5人は令和6年度から4歳児として他の幼稚園等に転園していただくこととなりますが、園児の保護者には現状や市の方針を説明し、休園や転園についてご理解いただいております。

市としましては、那珂湊第三幼稚園に転園する園児や保護者の負担を軽減するため、那珂湊第一幼稚園の教諭を那珂湊第三幼稚園に異動させることや、使用していた体操服などは買い替えをせずに継続して使用することを認めるなど、可能な限り配慮してまいります。

ひたちなか市の幼稚園について

令和5年9月

1 はじめに

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本としている。

2 ひたちなか市園児数の推移

※令和5年5月1日現在

(単位：人)

市立幼稚園		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和元年度比)
	佐野		64	69	57	53
東石川		56	52	44	43	40 (71.4%)
那珂湊第一		17	25	34	17	14 (82.4%)
那珂湊第三		36	35	34	43	42 (116%)
計		173	181	169	156	139 (80.4%)

私立幼稚園		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和元年度比)
	勝田第一		456	454	432	378
栄光		396	421	428	411	384 (97.1%)
明成		231	225	199	192	165 (71.4%)
勝田第二		211	242	218	203	187 (88.6%)
明成田彦		193	177	164	148	120 (62.2%)
はなのわ		168	183	178	169	165 (98.2%)
計		1655	1702	1619	1501	1376 (83.1%)

計		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和元年度比)
			1828	1883	1788	1657

少子化の進展や保護者の就労状況の変化、幼児教育の無償化等により、幼稚園への入園児が減少傾向にある。

3 ひたちなか市立幼稚園について

(1) 幼稚園教育の役割

遊びを通しての総合的な指導の中で子どもの資質・能力を育成する。

～市立幼稚園の一日～

9:00 登園

室内遊び・戸外遊び※1

10:30 年間指導計画に基づく遊び

12:00 昼食

(佐野・東石川は弁当、湊一・湊三は給食)※2

13:15 降園準備

14:00 降園



※1 計画訪問や要請訪問等で保育について教師に対し指導課の助言指導等あり

※2 食育について幼児に対し保健給食課の指導等あり

(2) 3歳児保育の現状

令和2年度より佐野、東石川、那珂湊第一で3歳児保育を、令和4年度より那珂湊第三で3歳児保育を開始。

《市立幼稚園3歳児入園状況》※令和5年5月1日現在

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和元年度比)※2
佐野	19	14	13	10 (52.6%)
東石川	8	17	11	6 (75.0%)
那珂湊第一	11	17	0	5 (45.5%)
那珂湊第三			14	12 (85.7%)
計	38	48	38	33 (86.8%)

※那珂湊第三は令和2・3年度に園舎を増築し、令和4年度より開始。

※2 那珂湊第三は令和4年度比

(3) 特別支援教育の現状

○令和5年度は、市立幼稚園に在籍する139名中の幼児のうち、教育上個別の支援が必要な幼児が33名在籍、介助員20名配置。

○介助員は支援が必要な幼児に対し遊びや生活の補助を行っている。

○令和5年度までに学級担任をする幼稚園教諭全員が『特別支援教育二種免許状』を取得。

○福祉サービスを使う施設との情報交換、支援学校の巡回相談等も行っている。

(4) 小学校教育との連携の現状

○平成30年度から、ひたちなか保幼小接続管理職部会、担当者研修を実施。

○相互理解を深めるための保育の公開及び授業参観の実施。

○幼児教育施設では、アプローチカリキュラム、小学校ではスタートカリキュラムの見直し、改善を行えるよう研修を通して指導課がサポート。

○『幼保小の架け橋プログラム』の実施に向けて、保育所・幼稚園・小学校との更なる連携の強化、組織づくりが今後の課題。

(5) 教員研修の現状

○特別支援教育研修…小中学校の職員と合同での研修会

○市保幼小接続研修…保育園・幼稚園（公私立）・小学校の職員との合同での研修会

○要請訪問…各園の課題や、保育について訪問指導

(6) 預かり保育の現状

○令和2年度より市立幼稚園全園で預かり保育を実施。

○預かり時間は平日14時～16時、長期休業中は9時～16時。

○就労やリフレッシュのための保護者支援につながっている。

